

## 所謂嗜眠性腦炎ノ一症候ニ就テ

上野貞吉

私ノ實驗シタル患者ハ極メテ少數(六名)デアリマスガ何レモ眼球結膜ノ充血ガアリ、角膜ノ周圍ニ著明ニシテ殊ニ角膜内側ヨリ内眥部ニ、角膜外側ヨリ外眥部ニ向ツテ地平或ハ星芒狀ニ恰モ翼狀贅片ノソレノ如ク高度ノ充血ヲ見タノデアリマス。

之ガ果シテ眞性ノ嗜眠性腦炎ノ一症候ナルヤ否ヤ諸君ノ御示教ニアツカリタイノデアリマス。

追加

守成 一

流行性腦炎ノ眞疑ヲ問題ニスレドモ大略其ノ流行狀態ニ注意シ詳細ノ症狀ノミヲ論ズルハ至當ニアラズ、凡テノ流行病ハ症狀一致スルニアラズ。

追加

福田美明

嗜眠性腦炎ハ富山縣下ニテハ大正八年來實驗スル所ニシテ十全會雜誌上急性「ストビジラート」或ハ流行性寒冒ニ因スル舞蹈病ノ名稱下ニ報告セリ、其ノ當時三浦謹之助博士ハ小生ノ例ヲ以テ嗜眠性腦炎ノ實例トシテ神經學雜誌ニ發表セラレタリ、其時ノ共有症狀ハ左ノ如シ。

一、寒冒ノ氣味ニテ一兩日間惡寒アリ

二、頑固ナル不眠(二三日間)

三、複視(交叉性)

四、眼瞼下垂

五、舞蹈運動

六、呼吸窘迫感

七、意識明瞭

八、精神症狀(發揚)

九、熱(三十七度—三十九度)

十、發作ハ二—四日間

十一、複視ハ永ク存スルコトアリ

十三、年齢幼者ニ多シ

十二、經過緩徐

十四、豫後大抵可良

然ルニ今期ノハ稍其ノ發病狀態ヲ異ニス、大抵左ノ共有症アリ。

一、突然頭痛全身倦怠

二、意識朦朧、臆譫語、四肢抱攣

三、發熱三十九度—四十一度

四、脈六十—八十位

五、嘔吐項部強直ケニヒ症隄反射元根ナキモノ多シ

六、尿閉、又ハ失禁

七、半身不隨症(不完全)

八、大抵五—六日ニテ下熱

九、意識恢復(牙關緊急尙存ス)

十、年齢ハ予ノ三十例平均四十四歲位

十一、豫後ハ不良後遺症モ甚シ

十二、一家二人以上ノ發病例ヲ見ズ

十三、富山縣ニテハ八月上旬ヨリ九月中旬迄流行最盛ニシテ一過性ニ流行セル傾向ナリ。

### 余ノ診シタル流行性腦炎患者及ビ其遺殘症ノ治療法ニ就テ

石 川 精 一

余ノ診シタル流行性腦炎患者ハ總數二十七名(男十五名、女十二名)ニテ内十四名(男六名、女八名)ハ自ラ治療シ他ノ十三名(男九名、女四名)ハ對診セルモノナリ、右患者ニ就テ概說スレバ

(一)、誘因トシテハ炎暑ヲ侵シテ過勞セルモノ多シ、殊ニ旱天續キタル時八月十日ヨリ二十日迄ノ間ニ大多數ヲ實驗シタリ、二十二日ノ降雨後ハ頓ニ減少セルヲ認ム。

(二)、發病ハ二—三日間輕度ノ頭重頭痛、全身倦怠、違和感又ハ下肢重感アリ、又ハ之等ノ前驅症デ全ク自覺セザルニ突然重篤ナル腦症狀ヲ起シ同時ニ熱發ス、熱發前惡寒戰慄ハ感ゼザルモノ多シ。